

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」稻田堤校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援を通して、利用者様一人ひとりの個性や良さを伸ばしてもらえるようなサポートが行える。	利用者様の意思決定を尊重しています。(選択,決定) 支援の内容は、利用者様の興味関心のあることを中心に設定します。 思いの表現が苦手だったり、発語が難しかったりする場合には、行動や表情からの確認、ご家族様への聞き取りを行います。	より丁寧なサポートを行っていくために、定期的な面談を実施し、利用者様や保護者様のニーズの把握を行っていきます。 必要に応じて、通っている園や他事業所との連絡を行い、利用者様についての共通理解を図れるようにしています。
2	長期休暇等の期間には、年齢を問わず楽しめるイベントやワークショップを開催している。	職員で計画を立てるだけでなく、講師を招いたり、利用者様にアンケートをとったりしながら、開催するイベントやワークショップの充実を図っています。	通っている利用者様の興味関心を定期的に把握し、イベントに反映させていきたいと考えています。
3	地域の関係機関(幼稚園・保育園・学校等)との繋がりを大切にしている。	通っている幼稚園や保育園、関係機関等に定期的に訪問しています。必要に応じてケース会議に出席することで、利用者様の状況(成長や園での様子, 困りごと等)の把握を適切に行えるようにしています。	地域との連携をより良くしていくために、日々の情報共有や訪問等の機会を増やしていきたいと考えています。 教室での活動内容について知っていただけるように、SNSを通して発信していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族の対応力向上の為のペアレントトレーニングや、複数のご家族が合同で参加できる研修や交流の場の設定。	現在、ご家庭ごとの困り感に対して、個別の対応は行っていますが、集団での実施には至っていません。	ペアレントトレーニングを目的とする保護者会を計画し、保護者様同士の交流の場面も設定できるようにしたいと考えています。
2	教室内の活動が中心となるため、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	個別支援を行う教室になるため、地域の子どもたちと関わる機会が少ない状況となっています。 園が終わった後に通室してもらっているため、地域の交流の場に行くことが難しい状況となっています。	地域の保護者様が主催したイベントなどには協力させていただき、教室に通っていない子どもたちにも来所していただきました。 今後は更に利用者様と地域住民の方々の交流が行えるよう、季節ごとのイベントを計画していきたいと考えています。
3	父母会、保護者会等の開催頻度が少ないとにより、保護者同士の交流機会が少ない。	年間のスケジュールの中で、父母やきょうだいが参加する行事が少ない状況となっています。	保護者様やきょうだいが自然と交流できる場所や行事等を定期的に計画していきます。 参加しやすいスケジュールを組んでいけるよう、ご希望のご家庭に対しての日程調整を行っていきます。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">公表</div> <div style="text-align: center;">保護者等からの事業所評価の集計結果</div>								
事業所名		こどもサポート教室「きらり」稻田堤校						
		公表日 2026年 2月 14日						
				利用児童数		回収数		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2	0	0	座ってする活動には充分かと思いますが、活動中に子供がリラックスできるようなスペースや、個室、面談ができる場所があると子供が活動中の時間で面談もしやすいなど感じます。もう少し広くて子供が体を動かす活動もできたらいいなどは思います。	利用者様の状況に応じて、活動スペースを適宜調整するようになっています。(粗大運動・創作活動等)
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	0		利用者様に安心して過ごしてもらえるように、職員配置を調整しています。職員の専門性を高められるように、今後も積極的に研修等に参加し、期待に添えるよう努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	6	2	0	入口は段差があり、バリアフリー化されていないが、室内はわかりやすくバリアフリー化されているなど感じます。	スロープ等は取りませんが、教室内は利用者様が過ごしやすいように配慮しています。(教室内表示、支援スペースの安全面への配慮等)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0	マンツーマンの個別療育で限られたスペースで座ってする活動がメインの空間です。	日々、清掃や消毒を徹底しています。感染症が流行している時期には、こまめに消毒をしたり、換気を行っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	2	0	2	子供の状態や様子を見ながら活動してくださっていると思います。日々の活動報告は無いのであるとよりいいですし、毎回こちらから確認も申し訳ないので、いつでも行けば確認できるものがあるといいなどは感じます。感覚統合ができたり、今後活動の幅や子供の興味が広がると嬉しいなどは思っています。	利用者様の意思を丁寧に受け止め、可能な限り理解できるように努めています。教室での活動に主体性を持って取り組んでもらえるよう、利用者様のニーズを適切にアセスメントしていきたいと考えています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	0	今は子供の好きなことを通して関係性をつけていただいている。安心して通えています。	利用者様の興味関心のあることを取り入れながら、より良いコミュニケーションをとれるように努めています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	11	2	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	2	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	2	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	2	0	2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	9	2	幼稚園に通っているので、「きらり」での交流を求めていません。	交流は行っていませんが、保護者様や園、関係機関等からの要望があった際には、訪問や見学、ケース会議への参加を行っています。
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	0	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	4	0	0	困ったことの相談や、こちらから面談を希望すればすぐ対応して頂けます。毎回確認するのは大変なので、活動中の様子や支援方法、先生方の見解等が気軽にいつでも見れるもののがあったらいいなどは思います。	利用者様の支援時の様子を適切にお伝えできるように努めています。(口頭・LINE等)成長や変化に関しては、良さの観点からお伝えできるように心がけています。振り返りの時間以外でも利用者様の様子を共有したり、子育てについての相談に乗ったりできるよう、保護者面談も適宜行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2	0	4	こちらからお願いすればすぐ面談していただけます。	定期的な面談を実施しています。ご家庭の要望がある際には、当日でも対応できるようになります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0		

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	2	7	交流を求めていません。	保護者会や座談会等だけでなく、各種ワークショップ等のイベントを開催しています。希望がある方は、その都度参加をしていただいている。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	4	0	0	連絡は取りやすいですし、お願いすればすぐ面談も対応いただけて助かります。 日々の活動報告はないので活動中の様子や支援方法、先生方の見解等が気軽にいつでも見れるものがあつたらいいなとは思います。	利用者様の年齢や発達段階に合わせた言葉遊びをするように心がけています。 連絡手段を複数用意するようにしています。（紙面、LINE、口頭等） お話をさせていただく際には専門用語を避け、分かりやすい表現を用いて説明するように努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	2	0	2		教室内の掲示板を利用者様の作品掲示用と事務連絡用に分けています。また、インスタグラム、LINE等を用いて、教室の活動の様子が伝わりやすいよう工夫も行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	3		策定したマニュアルをもとに、定期的に各種訓練を実施し、計画書や実施記録等を保管しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	5		災害に備え、定期的に避難訓練を実施しています。有事の際に適切な行動がとれるよう、職員全体で共通理解を深めています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	2	0	3	家も近く個別療育で滞在時間も短いのでそこまで心配はしていませんが、周辺にコンビニや大通りもあり色々な人が通るので万が一不審者が入ってきた時のために、さすまた等何か対策はあるのか、スタッフの方が訓練等されているのかは不明でした。	日常的に起こり得る事案(事故やヒヤリハット)について事業所内で情報共有を行っています。 利用者様の特性に応じた安全配慮に努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	5	そういった事案はまだないですが、すぐに連絡いただける状態だと思います。	非常時の対応、ケガや事故等が起きた場合の対応につきましては、契約時に説明してご了承いただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0		利用者様が安心して過ごすことができるよう、一人ひとりに合った環境を今後も整えていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0	まだ先生方と関係性をつくっているところですが、子供が安心して楽しみに通えることがまずは大事だったので良かったです。	利用者様、保護者様のニーズにお応えできるよう、今後も一人ひとりに寄り添った丁寧な支援を心掛けています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 2025年 2月 14日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守した支援スペースを確保しています。 支援内容によって調整を行い、十分な活動スペースを確保しています。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		年度によって職員数の変動はありますが、利用者様が安全に活動できるように、その都度適切な人員配置を行なうよう努めています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		入口にスロープ等は有りませんが、教室内は利用者様が過ごしやすいように配慮しています。(教室内表示、活動スペースの安全面への配慮、視覚的な表示等)	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		遊び・学習・休息など、目的に応じてスペースを分けています。 利用者様の特性に合わせて刺激を調整しています。(視覚刺激を減らす、音を抑える等) 必要な道具が取り出しやすく、片付けやすい環境にしています。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、休息やクールダウンのできる場所を設定しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		より丁寧なサポートを行っていくために、定期的な面談を実施し、利用者様や保護者様のニーズの把握を行なっています。 必要に応じて、通っている園や他事業所との連絡を行い、利用者様についての共通理解を図れるようにしています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年度ごとに保護者アンケートや評価表を配布し、事業内容の改善に取り組んでいます。 今年度からアンケートの形式をオンラインと紙媒体両方で行い、回答を行なやすいように配慮しています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		教室内でのミーティングを実施し、職員の意見をもとに、支援方法や環境の見直しを行なっています。 課題に対して具体的なアクションを実施するために、職員全体で情報共有を行なっています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に各種研修に参加し、職員全体の支援の質の向上を図りたいけるように取り組んでいます。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		計画については保護者様に説明をし、内容の共有をさせていただいている。 利用者様の発達状況や特性、ニーズに基づいて作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成した計画を職員間共有を行い、計画に基づいたサービスを提供できるように努めています。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		教室全体で利用者様の支援を行えるように、日々のミーティングや打合せ等で情報の共有を行い、チーム支援を行えるように努めています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		利用者様のニーズや興味関心を適宜把握し、教室での活動に主体的に取り組んでもらえるように配慮しています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		利用者様の発達状況やニーズに合わせて、個別と集団での活動が行えるよう、計画を作成しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		その日の支援について、職員全体で打ち合わせを行い、情報の共有を行った上で支援を実施しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		職員全体で打ち合わせや引継ぎを行い、その日の支援を実施できるようにしています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の支援の記録をデータとして残し、利用者様の様子や発達状況について教室全体で常に共有できるように努めています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		6か月(必要に応じて期間の短縮をすることも有り)ごとに、利用者様の状況に応じて、計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者だけでなく、利用者様の特性や得意・苦手を把握している職員が参加しています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		幼稚園、保育園、学校等の関係機関との連携を常に心がけています。 利用者様のことを包括的に支援できる体制を整えられるように努めています。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		就学前に通っていた園と情報共有を行い、就学後にどの様な支援が必要かと一緒に検討する機会を設けています。	
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		LINEのメッセージや口頭で、毎回の様子を共有できるようになります。 保護者様からの意見や希望を肯定的に受け止め、相談しやすい雰囲気づくりを心がけています。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>		現在は、各ご家庭ごとの対応を行っています。 保護者様向けの交流会や座談会等の開催については、今後検討していきたいと考えています。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		分かりやすい説明を行うように努めています。 ご家庭によって負担額が異なる部分に関しては、具体的にどの様な違いがあるかをご説明しています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインの指針及び、利用者様のより良い成長を目的とした個別支援計画を作成し、承諾のサインをいただいているいます。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		ご要望に合わせて、速やかに対応できるよう、心がけています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>		現在父母会の開催は行っておりませんが、教室のイベント等で保護者様やごきょうだい同士が自然と交流できるような場面を設定しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		定期的な面談を実施しています。 ご家庭の要望がある際には、当日でも対応できるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		校舎内の掲示板やインスタグラム、教室LINE等を用いて、日々の活動の様子を分かっていただけるように広報活動を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットにて保管しています。 個人情報にアクセスできる端末に関しては、パスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		利用者様の年齢や発達段階に合わせた言葉選びをするよう心がけています。 連絡手段を複数用意するようになっています。(紙面、LINE、口頭等)	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		現在実施できておりませんが、教室のイベント等に参加していただけるように、地域の方々に向けた周知活動を行っていきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		教室で実施した訓練の様子を、インスタグラム等を通じて発信したり、閲覧書類として手に取れるように設置したりしています。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		災害に備え、定期的に各種訓練を実施しています。有事の際に適切な行動がとれるよう、職員全体で共通理解を深めています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		服薬をしている場合には、事前に確認を行い、行動や体調面を注意して見守るようにしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			現在該当する利用者様はいません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		定期的に研修への参加や、各種訓練の実施をしています。有事の際に適切に行動できるように備えています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		都度ヒヤリハットの記録を作成し、保管しています。 職員間で情報を共有し、同様の事象が発生しないよう、改善に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		人権擁護・虐待防止等に関する研修に定期的に参加しています。研修で学んだことを、職員全体で共有できるように徹底しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		利用者様の安全を確保するという観点から、行動の制止や制限等を行う可能性はあることをご説明し、同意を得ています。	